

ブルーカーボン等によるクレジットの創出・利活用に係る早期社会実装促進事業



【令和8年度予算（案） 100百万円（新規）】

【令和7年度補正予算額 400百万円】

2050年ネット・ゼロの実現に向けて、ブルーカーボン等の大規模な吸収源対策技術の早期社会実装を目指します。

1. 事業目的

2050年ネット・ゼロの実現に向けて、ブルーカーボン等の大規模な吸収源対策技術の早期社会実装が必要となっている。民間事業者を中心としてブルーカーボン等に係る技術の開発が進められており、当該技術を活用したクレジット創出やその円滑な流通のための基盤整備等を支援する。

2. 事業内容

大規模実証プロジェクトの立上げ支援

- 大規模実証プロジェクト実施に向けた概念実証
- 大規模実証プロジェクトの実施によるクレジットの創出

ブルーカーボン等の吸収源対策技術に係る大規模実証プロジェクトの実施を支援する。これにより、当該技術の早期の社会実装を図り、2050年ネット・ゼロの実現に貢献する。

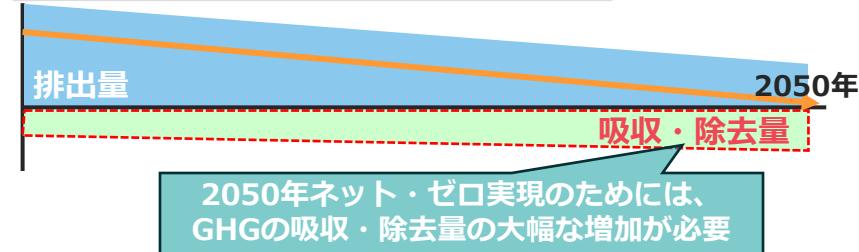
3. 事業スキーム

- 事業形態 直接補助事業（補助率 定額（1/3相当））
- 補助対象 民間事業者・団体
- 実施期間 令和7年度～令和10年度

お問合せ先： 環境省 地球環境局 総務課 脱炭素社会移行推進室 電話：03-5521-8244

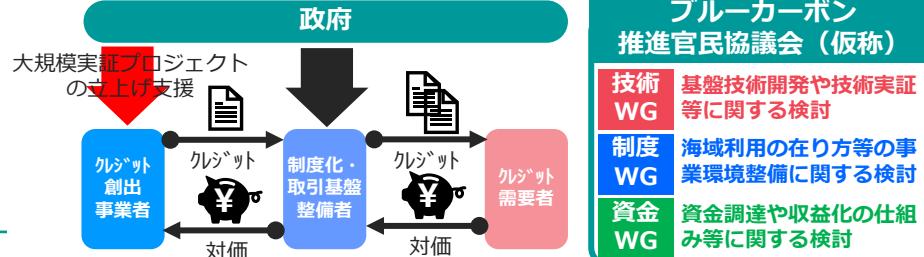
4. 事業イメージ

◆政府目標：2050年ネット・ゼロの実現



2050年ネット・ゼロ実現のためには、
GHGの吸収・除去量の大幅な増加が必要

◆事業スキーム



ブルーカーボン
推進官民協議会（仮称）

技術WG	基盤技術開発や技術実証等に関する検討
制度WG	海域利用の在り方等の事業環境整備に関する検討
資金WG	資金調達や収益化の仕組み等に関する検討

◆早期社会実装を目指すCDR技術例

